

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-181	高等学校	外国語	英語コミュニケーション I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	CI002-902	Power On English Communication I Revised		

1. 編修の基本方針

基本方針

1

本文を素材として、4技能をバランスよく育むことができる教科書

- ・各Lessonは、本文と4技能を扱うタスクなどから成る見開き構成です。タスクを左ページに、本文を右ページに置くことで、「本文の読み取り中心」ではなく「タスク中心」の授業を行いやすく、本文を素材として4技能を鍛えられる構成となっています。
- ・各Part冒頭の「Guess」はイラストや写真を使った推測問題です。語彙の意味や本文内容を推測することで、目的をもって本文読解に取り組むことができます。
- ・各Lessonのまとめとして、Summary（要約）やAction（聞く、書く、話すの統合活動）を課末に設けました。本文で学んだことをもとにしなが、表現のアウトプットに重点を置いた言語活動を行うことで、コミュニケーション力を養うことができます。

基本方針

2

手厚い支援と明確なステップで、生徒が主体的に学べる教科書

- ・各Lessonのタスクや課末の言語活動Actionは、段階を踏んで無理なく行えます。
- ・生徒の学ぶ意欲を高めるため、扉に大きく写真を配置しました。
- ・各Partの写真は、見るだけで本文内容が想起でき、効果的に授業の導入ができるものを取り上げています。

基本方針

3

学んだことを「使いながら」定着させる教科書

- ・各Partの「Plus One」や課末の言語活動Actionでは本文で学んだ語彙・表現を繰り返し「使いながら」定着させ、無理なく四技能統合活動ができます。
- ・課末の言語活動Actionでは、本文で学んだテーマについて、別の視点や異なる意見を聞く活動や、自分の意見を書いたり発表したりする活動を通して、学びを深めることができます。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson Summer Reading Optional Reading	①各 Lesson で取り上げた題材を通して、異文化の発想や考え方を知り、広い視野を育成します。(第1号)	各 Lesson
	②Reading では生徒の心情に訴えるような題材を取り上げ、互いを思いやる心と道徳心を培うように配慮しています。(第1号)	Summer Reading Optional Reading
	③各 Lesson の Plus One と関連表現をまとめた Tool Box Plus!で、豊かな自己表現を促します。(第2号)	p.20、p.30、 pp.174-175 など
	④英語活用力 Up コーナーでは、実際の言語の使用場面を踏まえた言語活動を行い、実生活に生かすことができます。(第2号)	pp.164-166
	⑤実在する人物が、夢を実現するまでのストーリーを取り上げ、主体的な生き方について考える機会を設けています。(第2号)	Lesson 3、 Lesson 10 など
	⑥ペアやグループで取り組む言語活動を豊富に用意し、協力し合う心を育みます。(第3号)	各 Lesson の Plus One、 Try It!、Action など
	⑦男性、女性をバランスよく取り上げ、男女が共に社会に参画している姿を示しています。(第3号)	Lesson 3、 Lesson 7、 Lesson 10、 Optional Reading など
	⑧自然を大切にしたり、環境保全を心がけたりするような題材を取り上げています。(第4号)	Lesson 5、 Lesson 7、 Lesson 8、 Lesson 10 など
	⑨外国の生活や文化を紹介し、他国への理解と尊重の心を育みます。(第5号)	Lesson 4、 Lesson 5、 Lesson 8 など
	⑩我が国の伝統や文化について知り、それらを外国に向けて発信する力を養います。(第5号)	Lesson 1、 Lesson 4、 Lesson 10 など
コラム類	①英語の基本的な文構造や発音などの学習を通して、日本語とは異なる特色に気づき、理解しようとする態度を養います。(第1号)	Pre-Lesson、 Sounds Interesting など

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
観点	留意点	具体例
① 教育基本法の遵守	① 国際社会の舞台において積極的に挑戦し、活躍できる日本人を育成するために、英語力を確実に身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことを目指しています。	Lesson 1～ Lesson 10
	② 世界に日本のよさを発信できる生徒を育成するために、日本の伝統・文化に関する題材を豊富に取り上げています。	Lesson 1、 Lesson 4、 Lesson 10など
② 学習指導要領の遵守	① Lessonを重ねるごとに、「聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力」を伸ばせるように、題材や練習問題が選択・配列されています。	Lesson 1～ Lesson 10
	② 生徒が自分のことばで英語をアウトプットする活動を取り上げ、コミュニケーションの機会を豊富に用意しました。	Lesson の Plus One や Actionなど
	③ 話しことばや書きことばの違いが認識できるよう、さまざまなテキストタイプを取り上げ、使われる英語の「ジャンル」が意識できるよう配慮しました。	Lesson 1～ Lesson 10、 Zoom-In with コーパスなど
③ 内容・配列・分量	① 学習負担を考慮し、言語材料は1つのPartにつき1項目に限定しています。また、既習事項を新たな学習内容に関連させながらゆるやかに難易度を上げているため、無理なく英語力を養成できます。	Lesson 1～ Lesson 10
	② 各Lessonは、「語彙の意味または内容の推測による導入→内容理解→演習→整理→発展」の順に構成されており、効率的に学習できるように配慮されています。	Lesson 1～ Lesson 10
	③ 本文は、一般的な授業の流れに沿ってPart分けされています。Partごとに、本文の内容把握と文法学習を行うため、無理なく、効率的に学習できます。	Lesson 1～ Lesson 10
④ 評価 (CAN-DO)	各Lessonの扉ページのGoals of the Lesson (4技能5領域の学習目標)を受けて、課末のActionでは言語活動を通して、そのLessonにおける目標の到達度を確認することができます。	Lesson 1～ Lesson 10
⑤ 英語で授業を行うための配慮	Lessonのタスクなどはなるべく日本語を介さずに内容が理解できるように工夫しています。また、生徒が英語でアウトプットする活動を充実させています。	Lesson 1～ Lesson 10
⑥ 中学校との関連	中学校英語からのスムーズな接続のために、Pre-Lessonや辞書ガイドを用意し、5つの文構造や辞書の引き方などを扱っています。	Pre-Lessonなど
	学習段階に応じて、平易なものから難しいものへと段階的に学習・指導できるように配慮しました。Lesson 1からLesson 5までは中学校の文法事項の復習も兼ね、高校英語への橋渡しという点に特に留意しています。	Lesson 1～ Lesson 5
⑦ 伝統・文化の取り上げ方	① 日本の伝統・文化に関する話題を取り上げ、我が国の伝統・文化への意識を高め、日本を世界に紹介する意欲を促すようにしています。	Lesson 1、Lesson 4、 Lesson 5、Lesson 10など

	<ul style="list-style-type: none"> ② 言語を文化ととらえ、英語の基本的な文構造の学習を通して、日本語と英語の違いに気づきを与える活動を積極的に取り扱っています。 	Pre-Lessonなど
⑧ 自然科学の取り上げ方	英語科にふさわしい意味のある切り口で取り上げられるよう、特殊な語彙や表現による負担に配慮して、題材選定をしています。	Lesson 2、Lesson 7など
⑨ 家庭学習・自学自習への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ① 辞書の引き方、接頭辞・接尾辞などが扱われています。 ② 自宅でも本文や単語の音声を聞けるように、二次元コードを設置しています。 	辞書ガイド Sounds Interesting など
⑩ 文字・印刷・製本	① 活字は鮮明で美しく、写真、イラストなども鮮明です。	全体
	② 製本は堅牢で、開きやすい様式です。	
	③ 図やグラフの色使いなど、色覚特性への配慮を含むユニバーサルデザインになっています。	

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-181	高等学校	外国語	英語コミュニケーション I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	CI002-902	Power On English Communication I Revised		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

国際社会で活躍するために必要とされる、
英語力の基礎を身につけられる教科書です。

基本方針

1

本文を素材として、4技能をバランスよく育むことができます。

- ・各Lessonは、本文と4技能を扱うタスクなどから成る見開き構成です。タスクを左ページに、本文を右ページに置くことで、「本文の読み取り中心」ではなく「タスク中心」の授業を行いやすく、本文を素材として4技能を鍛えられる構成となっています。
- ・各Lessonのまとめとして、Summary（要約）やAction（聞く、書く、話すの統合活動）を課末に設けました。本文で学んだことをもとにしなが、表現のアウトプットに重点を置いた言語活動を行うことで、コミュニケーション力を養うことができます。

【「読む」ことについて】

- ・各Lessonの本文では、発表、インタビュー、実況中継などの「話しことば」と、雑誌記事、論説文、新聞記事などの「書きことば」を扱い、さまざまなジャンルの英文に触れ、場面を意識しながら読むことができるように配慮しました。
- ・各Part冒頭のGuessはイラストや写真を使った推測問題です。語彙や本文内容の推測をすることで、目的をもって本文を読むことができます。

【「聞く」ことについて】

- ・各LessonのListenでは写真に関する選択問題で本文の内容を確認します。
- ・課末のActionではScene 1で各Lessonテーマについて、本文とは別の視点や異なる意見を聞き取り、学びを深めます。
- ・英語特有の音声の特徴については、コラム「Sounds Interesting!」で、例示付きで扱っています。英語の聞き取りだけでなく、発音する際にも役立つ内容です。

【「話す」および「書く」ことについて】

- ・各LessonのPlus Oneで、自分のことを1文で話したり、書いたりします。
- ・課末のActionではScene 2、Scene 3、Scene 4で、本文で学習した表現を繰り返し使いながら、自分の意見を書いたり、発表したりします。
- ・発表の際に役立つ話し方やアイコンタクトについて、コラム「Speech Skills」で取り上げています。
- ・コラム「Paragraph Writing」では英語のパラグラフを書くときに役立つ情報をまとめました。

基本方針

2

手厚い支援と明確なステップで、生徒が主体的に学べます。

- ・各Lessonのタスクや課末の言語活動Actionは、段階を踏んで無理なく行えます。
- ・言語材料は、1パートにつき1項目に限定し、学習負担に配慮しています。また、既習事項を新たな学習内容に関連させながら緩やかに難易度を上げているため、無理なく英語力を高めていくことができます。
- ・言語材料の配列については、中学校の復習を行うとともに、平易なものから難しいものへと段階的および体系的に学習・指導できるように配慮しました。
- ・冒頭のPre-Lessonでは、日本語と英語の見方・考え方の違いに焦点をあてた項目を扱っています。高校英語学習の基礎となる事項について整理し、復習や自学自習が容易にできるように、動画資料もご用意しました。
- ・教科書全体を大きく3つに分け、題材内容および学習事項の難易度が徐々に上がるようにしました。(下記参照)

【教科書の全体構成】

Pre-Lesson

基本事項の確認



Lesson 1~Lesson 5

題材：日常的な話題

言語材料：中学校の復習



Lesson 6~Lesson 10

題材：社会的な話題

言語材料：高校新出事項

基本方針

3

学んだことを「使いながら」定着させ、深めることができます。

- ・各PartのPlus Oneや課末の言語活動Actionでは本文で学んだ語彙・表現を繰り返し「使いながら」定着させ、無理なく四技能統合活動ができます。
- ・課末の言語活動Actionでは、本文で学んだテーマについて、別の視点や異なる意見を聞く活動や、自分の意見を書いたり発表したりする活動を通して、学びを深めることができます。

基本方針

4

国際社会に通じる発信力を高められる題材を扱っています。

- ・前半部のLessonでは、身近な題材を通して、日本の伝統や文化に対する理解を深め、国際社会の中で生きる日本人としての思考力、判断力、表現力の育成を促すことができます。
- ・後半部のLessonでは、世界の文化や人物を広く取り上げ、さまざまな価値観を学ぶとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができます。

基本方針

5

実際の言語の使用場面を踏まえた活動を用意しています。

- ・課末の言語活動Actionでは、Scene 1で聞いた内容に対して、Scene 2やScene 3、Scene 4で自分の意見や感想を書いたり、発表したりする活動に取り組むことで、自分の考えを相手に伝える練習を積み重ねることができます。
- ・「注文書の書き方」や「クレームメールの書き方」など、実生活に生かすことのできるコミュニケーション活動を用意しました。

題材・言語材料一覧

Lesson	タイトル	言語材料
Lesson 1	Japan's New Tourism	動詞の現在形・過去形／進行形／助動詞＋動詞の原形
Lesson 2	Light from Creatures	受け身／現在完了形／現在完了進行形
Lesson 3	One Small Goal at a Time	不定詞／S＋V＋O[that節]／動名詞
Lesson 4	Miniature Life	後置修飾の現在分詞／後置修飾の過去分詞／比較級・最上級
Lesson 5	Banana Paper	関係代名詞（主格）／関係代名詞（目的格）／S＋seem＋to不定詞
Lesson 6	Patterns in Human Behavior	It＋be動詞＋形容詞＋that節／S＋V[be動詞以外]＋C／S＋V＋O＋C[形容詞]
Lesson 7	No Plastic or No Future	関係副詞where／関係副詞when／関係代名詞what
Lesson 8	Oh My Cod!	現在分詞の分詞構文／関係代名詞の非制限用法／過去完了形
Lesson 9	Is E-sports a Real Sport?	S＋V[知覚]＋O＋C[現在分詞、原形不定詞]／S＋V[使役]＋O＋C[原形不定詞]／S＋V＋O ₁ ＋O ₂ [ifなどの節]
Lesson 10	Never Too Late to Learn and Relearn	wish＋仮定法過去の節／仮定法過去のif節／仮定を表すwithout句

2. 対照表

図書の内容	学習指導要の内容				箇所	配当時間	
	2 内容		3 内容の取扱い				
	(1) 英語の特徴や決まり	(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり伝えたりすること	(3) 言語活動及び言語の働き				
		①	②				
Pre-Lesson 1～5	エ		ア		(2)	pp.6-10	5
Tips for Reading	イ	イ			(2)	p.11	1
発音ガイド	ア				(2)	pp.12-13	1
Lesson 1	ア・イ・ウ・エ	ア・イ・ウ	ア・イ (ア)・ウ (ア)・エ (ア)・オ (ア)・カ (ア)	ア (ア)・イ (ア) (イ)・ウ (ウ) (エ)・オ (オ)	(1) (2)	pp.14-25	6
Lesson 2						pp.28-39	6
Lesson 3						pp.42-53	6
Lesson 4						pp.56-67	6
Lesson 5			ア・イ (イ)・ウ (イ)・エ (イ)・オ (イ)・カ (イ)	ア (イ)・イ (ア) (イ)・ウ (ウ) (エ)・オ (オ)		pp.76-87	6
Lesson 6						pp.90-101	6
Lesson 7						pp.104-115	6
Lesson 8						pp.118-129	6
Lesson 9						pp.132-143	6
Lesson 10						pp.146-157	6
Summer Reading	ア・イ・ウ・エ	ア・ウ			(1)	pp.69-75	2
Optional Reading	ア・イ・ウ・エ			ア (ウ)	(1)・(2)	pp.158-162	2
Sounds Interesting!1～4	ア					p.41,p.55,p.103,p.117	4
Zoom-In with コーパス 1～4	ウ・エ					p.27,p.68 p.89, p.131	4
Paragraph Writing 1～3	イ・ウ	ア				p.116, pp.144-145	3
英語で注文書	ウ	ア・イ	ウ (ア)・カ (ア)	ア (ウ)・イ (ウ)	(1)	p.164	1
英語でクレームメール	ウ	ア・イ	ウ (ア)・カ (ア)	ア (ウ)・イ (ウ)	(1)	p.165	1
英語で映画の誘い	ウ	イ	イ (ア)・エ (ア)	ア (ウ)・イ (ウ)	(1)	p.166	1
						合計 85時間	